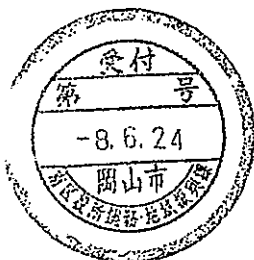


岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和8年6月23日

岡山市長 様



フリガナ なんきけあかいぎ
団体名 南輝ケア会議
所在地
連絡先
フリガナ
代表者 役職・氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	「災害に強いまちづくりを目指す」事業
事業実施小学校区・地区	岡山市南区 南輝小学校区
事業実施回数	新規 ・ 継続 2回目 / 【令和7年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 南輝ケア会議にて、災害に関する学区の課題が以下のとおり浮彫りとなる。 ①南輝学区は、干拓地のため「地盤が軟弱で、地震や液状化被害に弱い」こと。 また、海拔0メートル地域のため、津波の被害を受け易い特徴があること。 ②南輝学区は、災害に対する住民の意識が非常に低いこと。 ③南輝学区は、高齢化率が非常に高く、高齢者世帯が増加していること。 以上から、南海トラフ巨大地震による想定震度6強の揺れ、津波の襲来、液状化の発生等が想定されるため、災害に強いまちづくりが大きな課題であると考えます。
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 「みんなが安心して暮らせる地域づくりをめざして」をスローガンに、災害に強いまちづくりを目指すには、「災害に対しての備え」が最も重要であると考え、これを目的としました。 目的実現ためには、防災部会の継続活動と充実が不可欠であると考えました。

※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。

1. 南輝学区 第4次小地域福祉活動の3ヶ年（令和8年度～令和10年度）
計画内の重点活動に位置付けた「災害に対しての備え」は以下のとおり。

①情報の共有

- ・組織の役割の確認、情報の明確化
 - 避難場所、避難経路、危険箇所や災害要配慮者などの情報把握
 - 各町内会での防災マップを使用した避難訓練の実施
- ・防災啓発の強化

②防災部会の活動充実

- ・地区防災計画の策定
- ・専門家による講習
 - 災害に対する意識向上のための勉強会
 - 自宅でできる災害に備えるための知識習得
- ・部会メンバー間や関係機関との連携強化
- ・防災訓練計画の策定

2. 1項の「災害に対しての備え」を実現するため、防災部会の活動事業は、以下のとおりとする。

①「地区防災計画」の作成

- (1) 「地区防災計画」の策定にあたり、専門アドバイザーの指導を受ける
 - 地区防災計画作成推進協議会のキャラバン事業の講和を受講する
 - " の伴走支援事業のワークショップ等、計画作成の支援を受ける
- (2) 地区防災計画は、町内会単位で作成する
- (3) ②項の防災訓練計画の訓練結果も反映する

②「防災訓練計画」の作成と防災訓練の実行

- (1) 学区民参加の防災訓練の企画検討と訓練シナリオを作成する
- (2) 前年度防災訓練の参加者アンケート結果をシナリオに反映する
- (3) 関係機関と連携する
- (4) 防災訓練の実行

③学区民対象の防災勉強会の企画と実行

- (1) 防災勉強会の開催内容を企画検討とを含め検討
- (2) 専門家指導の要否と調査

④「個別避難計画」の作成検討

- (1) 防災勉強会の開催内容を企画検討とを含め検討
- (2) 専門家指導の要否と調査

期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。 【目標】学区住民の防災意識の向上と地域防災力の向上 ➤ 自分の命は自分で守る意識 ・ 災害発生リスク／ハザードマップの活用、防災気象情報の活用 等 ➤ 災害への事前の備えを行う ・ 非常持出品／非常備蓄品の準備、町内会の危険箇所等の把握 ・ 避難所への避難ルートの確認 等 ➤ 巨大地震発生時の行動意識 ・ 緊急地震速報の利用、学区主催の防災訓練への参加 等
企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 ①防災部会の活動は、部会メンバーの災害に対する意識向上のための勉強会や防災訓練計画の策定、地区防災計画の策定、個別避難計画の策定など、各計画の策定および作成ノウハウの習得などを柱とする。 ②区づくり推進事業の申請にあたっては、学区・地区・住民を主眼におき、学区民対象の防災勉強会の開催を企画する。また、防災訓練計画を企画検討を行い、訓練計画のシナリオ等を作成し、学区全体の防災訓練を実施する。並行して、地区防災計画の策定および個別避難計画の策定の検討を行い、作成する。 なお、防災訓練の実績を踏まえ、反省点や課題等を地区防災計画や個別避難計画に反映させる予定。
協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 【協働する団体】 南輝学区連合町内会、南輝学区単位町内会（9町内会）、南輝学区社会福祉協議会、南輝学区老人クラブ連合会、南輝地区民生委員・児童委員協議会、南輝学区愛育委員会、南輝学区婦人部協議会、岡山市社会福祉協議会南区南事務所、岡山市南区南地域包括支援センター、岡山市保健所健康づくり課南区南保健センター、岡山市ふれあい介護予防センター南事務所、岡山市立岡南公民館、かとう内科並木通り診療所 【役割分担等】 ➤ 南輝学区社会福祉協議会：事務局兼企画・運営担当 ➤ 南輝学区愛育委員会：会計担当 ➤ 南輝地区民生委員・児童委員協議会：庶務担当 ➤ 南輝学区老人クラブ連合会：監査担当 ➤ 関係機関：南輝ケア会議活動の支援と情報提供 なお、詳細は「令和8年度 南輝ケア会議名簿」をご参照ください。

事業の 情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民へ情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 ・学区内の全世帯に配布する「なんき社協だより」（年1回発刊）に掲載する予定。
学区 地区 への 広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。
前 年 度 か ら の 見 直 し 拡 充 点	※継続事業で申請される場合は、<u>前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。</u>また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したこと、改善・拡充ができなかった場合は、改善・拡充ができなかった理由を記載してください。 ・防災訓練時、審査会から「子供たち（小・中学生）を巻き込む方法を考えてほしい。例えば、防災訓練時に炊き出し訓練を行い、バッククッキングを行えば、子供たちは喜んで参加すると思う」との助言に対し、保護者に対し、積極的に訓練参加の声掛けを行った結果、保護者に連れられ、多くの子供たちが訓練に参加してくれました。しかしながら、炊き出し訓練は、防災訓練が初めてだったことと、訓練スケジュールの都合上出来ませんでした。今年度の防災訓練は、防災部会の協議にて炊き出し訓練を訓練項目に加える方向で、検討しております。
次 年 度 以 降 の 予 定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ①次年度以後の活動計画 ・学区民対象の防災勉強会の継続開催 ・防災訓練の継続開催 ・地区防災計画の見直しと検証 ・個別避難計画策定の継続検討と作成 他 ②資金の確保について ■次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：
そ の 他 P R し たい 点	南輝ケア会議 防災部会の概要 ①災害に強いまちづくりを実現するためには、「災害に対しての備え」が最も重要であると考え、これを目的とし、目的実現ために「防災部会」を立上げ、活動を行うことにしました。 ②令和5年5月、南輝ケア会議内に防災部会を立ち上げることが決まり、同部会は各町内会から町内会長を含むメンバーが人選され、令和5年9月に第1回目の防災部会を開催しています。なお、防災部会は毎月開催を原則としています。

事業スケジュール（企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画会議	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
防災訓練計画の作成		▲ 協議	▲ 協議	▲ 協議	訓練シナリオ作成			▲ 役割分担等 最終確認				
防災訓練実施 （学区民参加）								▲ 防災 訓練日	▲ 反省会	防災訓練の 反省点を反映		
地区防災計画 の作成					↑ 反映					↑ 反映	地区防災計画を参照し作成	
専門指導員の 指導と計画書 作成支援				▲ 講和	▲ ワークショップ					▲ ワークショップ		
個別避難計画 の作成検討 （専門指導員 の調査含む）												
学区民対象の 勉強会の企画 と実行 （専門指導員 の調査含む）												

収支予算書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	881,600	180,000	予算の1/2
実施団体負担金	220,460	180,000	予算の1/2
参加者負担金			
協賛金			
寄附金、他収入			
収入合計	1,102,060	360,000	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	21,941	15,000	事務用品他
②食糧費	65,116	30,000	会議時お茶代、防災訓練飲料代
③印刷製本費	10,705	26,000	会議資料および配布資料印刷代
④燃料費			
⑤光熱水費		8,000	冷暖房電気代
⑥通信運搬費			
⑦広告料			
⑧手数料	17,380		
⑨使用料・賃借料	270,800	60,000	会議室使用料
⑩原材料費	8,448	120,000	炊き出し訓練食材代
⑪委託料	549,120		
⑫工事請負費			
⑬報償費	118,000	86,000	講師謝礼金:30,000円×1回=30,000円 講師謝礼金:8,000円×7回=56,000円
⑭保険料		15,000	避難訓練イベント保険
⑮旅費	40,550		
支出合計	1,102,060	360,000	

◆概算交付の可否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ・ 希望しない
----------------	--------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。